

TOKYO PRO Market 上場の手引き

東京証券取引所の株式市場

市場第一部

市場第二部

MOthers JASDAQ

TOKYO PRO Market

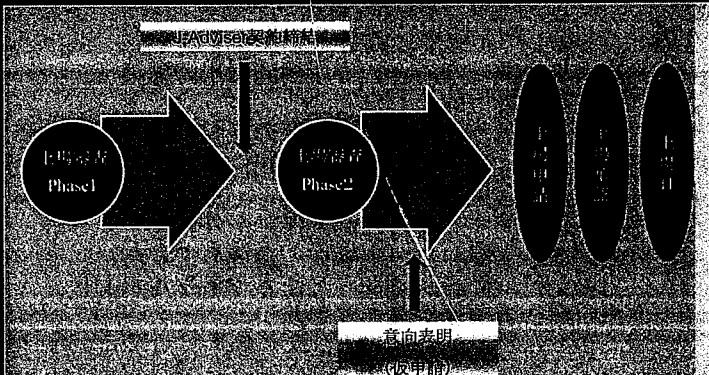
TOKYO PRO Market (“TPM”) とは？

TPM は、東証が運営する5つの株式市場の1つです。母体となっているのは、ロンドンのAIM市場をモデルとして2009年6月東証とロンドン取引所の合併で設立された日本初の国際ベンチャー市場 TOKYO AIM です。2012年7月に東証が継承して TOKYO PRO Market としてスタートし、これまでに11社が上場いたしました。上場審査や上場後のフォローをすべて主幹事 (J-Adviser) が担うという制度を採用し、また上場基準 (形式基準) が無いため、規模の小さいアーリーステージの会社・既存市場の枠組みにはまりにくい会社・外国企業等の多様なニーズにも対応できる市場で、今後爆発的な増加が期待される市場です。

上場するとどうなるの？

TPM に上場すると、普通の東証上場企業になります。従って上場によって得られるといわれているメリットを同じように享受できます。

- ① 4ケタの銘柄コードがもらえます。
- ② 名刺、HP、広告など様々な場面で、右のような東証上場マークを使用できます。
- ③ 適時開示情報閲覧サービス TDnet を活用して他の既存市場の上場会社と同様に情報開示を行います。
- ④ 帝国データバンク等の調査機関のデータでは上場企業区分になります。
- ⑤ 銀行取引、人材獲得、営業取引など様々な場面において、上場企業として扱われることとなります。
- ⑥ 上場時には、他の既存市場と同様のセレモニーが実施されます。



上場基準や審査手続きは？

上場に際して、監査法人による監査証明が直前期 (1期) のみ必要ですが、それ以外の数値基準は一切ありません。したがって売上げが小さい会社や赤字の会社、役員がとても少ない会社、経営者の持株比率が極端に高いケースでも上場が可能です。

上場に際しては、TPM 市場における主幹事資格 (J-Adviser 資格) を有する当社が審査を行い、東証の直接審査は行われません。上場を決断してから上場まで最短6か月というスピーディーな手続きも魅力です。上場審査で求められる水準は、企業のステージ (実態) に合わせたもので、マザーズ等で求められるような厳しいものではありません。

開示等に関する特徴は？

TPM は、企業規模の小さな会社等に配慮し、他の既存市場に比べ、様々な点で開示基準等が有利です。

	TPM	マザーズ等
継続開示	発行者情報を東証に提出 (年2回)	有報・四半期報告書を財務局に提出 (年4回)
四半期開示	不要 年2回でOK	必要
決算短信開示	60日以内	45日以内
J-SOX	任意	必要
会計監査人	任意	必要
監査役会	任意	必要
内部監査室	任意	必要
常勤監査役	任意	必要
インサイダー情報等の開示	マザーズ等の上場会社と同じ基準で開示が必要	東証の基準による

デメリットは？

デメリットと感ずるかどうかは、受け止め次第ですが、TPM では以下のような特徴があります。

- ① 流動性が低い → TPM で株式を購入できる投資家が限定 (後述) されているため、市場における流動性が極端に低いです。個人投資家 (一般投資家) に振り回されずに経営に専念できることをメリットと感ずる会社もあります。
- ② 上場時の資金調達に難しい → 上場後の流動性が低いことなどから、現状では上場時公募売出しを行うでも資金が集まりにくい状況にあるため、ほとんどの会社が、上場前には第三者割当増資等で1億円~5億円程度の資金調達を行っています。

TPMに参加できる投資家について

TPMは、様々なステージ・多様なニーズの企業を受け入れることから、市場に参加できる投資家を限定しています。

投資家区分	具体例	市場での株式買付	市場での株式売却
特定投資家 A	金融機関等の適格機関投資家、国、日銀	◎可能	◎可能
特定投資家 B	上場会社、資本金 5 億円以上の大会社	◎可能	
一般投資家 A	上記以外のすべての株式会社、 3 億円以上の金融資産を有する個人	◎可能 (特定投資家に移行した場合)	
非居住者	海外の個人、法人	◎可能	
一般投資家 B	上記以外の投資家	×不可	

TPM 上場した会社の本音！

TPM に上場して、実際に感じたメリットは？

- ① 東証上場企業になるという圧倒的信用の獲得
- ② 知名度が格段に向上した
- ③ 信用獲得により、大手取引先との取引ができた
- ④ 信用獲得により、銀行取引が有利になった
- ⑤ 業務提携や企業買収が実現した
- ⑥ 銀行借入に関する社長の個人保証が外れた
- ⑦ 資金調達を実現した（上場後の調達もできた）
- ⑧ “上場会社の社員”になったことでモラルが UP
- ⑨ 上位市場への道筋が見えてきた



TPMに関する TOPICS！

- ① 東証が主催をして、全 TPM 上場会社を集めての投資家向け IR イベント（会社説明会）を半年に一実施しています。また、TPM 上場各社に対し東証の担当者をつけて上位市場へのサポートをしてくれます。このような特別な扱いはマザーズや JASDAQ にはありません。
- ② フィリップ証券は全主幹事先に対して、アナリストレポートを年 2 回発行しています。
- ③ TPM 上場会社の多くが、上場後の資金調達（セカンダリーファイナンス）や M&A を実現させており、上場メリットを享受しています。
- ④ TPM では上場会社の子会社の上場も増えており、様々な形態の上場にも適合できる市場であることが証明されています。

TPM に関する FAQ

- ① 資金調達はできるか⇒ほとんどの会社が上場前に調達を行い、1 億～5 億円程度を獲得しています。
- ② まだ赤字だが上場できるか⇒可能です。
- ③ 債務超過だが上場できるか⇒増資等で上場申請までに解消してください。
- ④ 繰越損失があるが上場できるか⇒可能です。
- ⑤ 内部管理体制は十分とは言えない⇒既存市場ほどの高いレベルを求めないのご相談ください。
- ⑥ 内部監査室の設置は必要か⇒室の設置や専任者は必要ありませんが、内部監査的機能は必要です。
- ⑦ 常勤監査役は必要か⇒非常勤 1 名でもガバナンスが機能していれば大丈夫です。
- ⑧ マザーズに上場しやすくなるのか⇒形式基準上の優遇措置はありませんが、すでに東証上場企業の一員であり、東証の指導のもと適時開示が適正に行われている実績や東証としても「TPM はマザーズ等の上位市場への登竜門」と考えていることなどから、実質的には、未上場の状態からマザーズを受験するより優位であると考えられています。

- ⑨ 上場できない会社はどんな会社か⇒業種として東証上場が困難な会社、反社会的勢力との関連が推察される会社、事業に関し違法性が認められる会社等は上場できません。一方、売上・利益等に関しての基準は一切ありません。
- ⑩ 上場コストや維持コストは⇒上場時に、監査費用、審査費用、東証への費用等で約 3,000 万円が必要です。上場後は、監査費用及び J-Adviser への継続費用等で毎年 1,000 万円程度が必要です。しかしながら上場費用は、通常上場前の資金調達で賄うためキャッシュフローを痛めません。またマザーズ上場に比べると上場費用も維持費も桁違いに安いと言われています。

TOKYO PRO Market=フィリップ証券

TPM の前身である TOKYO AIM 市場の立ち上げ (T-AIM の上場会社のすべて) から TPM 第 1 号案件をすべて当社が手掛け、さらに J-Adviser (主幹事) としてのトータル取扱いシェアもダントツのトップ。加えて、TPM 上場後、各社が様々なコーポレートアクションを行っており、それらのすべてを当社が助言指導しているため、TPM における圧倒的なノウハウを有しています。TOKYO PRO Market と言えばフィリップ証券！

フィリップ証券ってどんな会社？

フィリップ証券は、シンガポールに拠点を有する Phillip Capital Group の日本法人。当グループはアジア全域、アメリカ、ヨーロッパ、オーストラリア、中東など世界 15 か国に展開し世界 23 の証券取引所と繋がるアジアを代表する総合ファイナンシャルグループ。特にシンガポールの Phillip Securities は、個人投資家の 4 人に 1 人は顧客であると言われるほどの大手。今後アジア展開を目指す企業にとってのパートナーとして最適です。

TOKYO PRO Market上場会社一覧(時系列) 1

会社名 (銘柄コード)所在地	事業内容	上場日	J-Adviser (上場時)	監査法人 (上場時)	株主名簿 管理人 (上場時)	業績 (百万円) 売上高 / 経常利益		特記事項・上場後のトピックス
メビオファーム (4586) 東京	がん治療向け 創薬事業	23.7.15	フィリップ証券	監査法人 トーマツ	三菱UFJ 信託銀行	23.3 24.3 25.3	9 / ▲258 161 / ▲229 31 / ▲144	・TOKYO AIM第1号 ・H25.6上場廃止
五洋食品産業 (2230) 福岡	冷凍洋菓子製造業	24.5.28	フィリップ証券	如水監査法人	三菱UFJ 信託銀行	23.5 24.5 25.5 26.5 27.5(予)	1,034 / ▲56 1,230 / ▲6 1,187 / ▲163 1,334 / ▲42 1,530 / 15	・TOKYO AIM第2号 ・2年続けて社債発行を行い、一般投資家から合計1億円を集める。 ・有価証券報告書提出会社 ・自主的に四半期開示を実施
新東京グループ (6066) 千葉	産業廃棄物 中間処理業	24.9.25	フィリップ証券	清和監査法人	三井住友 信託銀行	24.5 25.5 26.5 27.5(予)	3,084 / 86 3,096 / 172 6,260 / 58 5,500 / 150	・TOKYO PRO Market第1号 ・再生エネルギー事業子会社設立 ・M&A実施(リサイクル会社を買収し子会社化)
碧<へき> (3039) 沖縄	鉄板焼ステーキ レストラン	25.6.4	沖縄 J-Adviser	如水監査法人	三菱UFJ 信託銀行	24.9 25.9 26.9(予)	692 / 91 914 / 104 1,104 / 168	
HABITA CRAFT (1427) 群馬	注文住宅事業	25.7.31	フィリップ証券	清和監査法人	IRジャパン	25.6 26.6 27.6(予)	598 / ▲6 814 / ▲120 1,400 / 30	・M&A実施(建設会社を買収し子会社化) ・セカンダリーファイナンス(第三者割当増資)15 百万円実施
アドメテック (7778) 愛媛	がん治療向け医療用 精密機械製造販売	25.9.4	フィリップ証券	太陽ASG 監査法人	三井住友 信託銀行	25.3 26.3 27.3(予)	19 / ▲16 21 / ▲71 (非開示)	・セカンダリーファイナンス(第三者割当増資)1.4 億円実施 ・有価証券報告書提出会社
エコグリーン (3188) 東京	木質再生燃料 製造販売	25.10.31	フィリップ証券	清和監査法人	三菱UFJ 信託銀行	25.3 26.3 27.3(予)	1,374 / 60 1,626 / 75 1,680 / 104	・メガソーラー事業参入 ・木質エネルギー関係の会社と業務提携 ・リサイクル会社と業務提携
中央インターナショナル (7170) 佐賀	保険代理業	26.7.14	沖縄 J-Adviser	監査法人 トーマツ	IRジャパン	25.12 26.12(予)	623 / 15 635 / 30	
はかた匠芸 (3610) 福岡	博多帯等の織物 製造販売	26.7.15	フィリップ証券	監査法人 トーマツ	三菱UFJ 信託銀行	25.12 26.12(予)	206 / ▲12 639 / 4	・日本和装(東証2部)の子会社
イー・カムトゥルー (3693) 札幌	店舗向け業務アプリ ケーションの提供	26.10.20	フィリップ証券	優成監査法人	IRジャパン	25.12 26.12(予)	246 / 8 335 / 6	・セカンダリーファイナンス(第三者割当増資)10 百万円実施

TOKYO PRO Market上場会社一覧(時系列) 2

会社名 (銘柄コード)所在地	事業内容	上場日	J-Adviser (上場時)	監査法人 (上場時)	株主名簿 管理人 (上場時)	業績 (百万円) 売上高 / 経常利益		特記事項・上場後のトピックス
インテックスファイト シヤルホールディングス (7176) 東京	投資運用業	27.1.27	沖縄 J-Adviser	あずさ	三井住友 信託銀行	26.3 27.3(予)	5,503 / 2,277	